

インタビュー /

一緒に串間のPRを

6月5日から諏訪浜沖に滞在している「すわちゃん」に今回特別住民票を交付することとしました。もともと、北海道など寒い地域に生息するゴマフアザラシが、南国宮崎の最南端である串間市で発見され、しかも1カ月以上移動せず、滞在していることは、豊かな漁場である都井沖の美味しい魚をたくさん食べていることと、串間市民の「人柄」を気に入ってもらえたのではないかと考えます。

地方創生による移住を推進している串間市に、「すわちゃん」に長く滞在してもらい、一緒にPRをしていきたいですね。



副市長
佐藤 強一

びっくりしました

6月5日の朝6時半ごろ、散歩中に海面から頭を出す生き物を見つけました。すぐ海心の川崎さんに電話をして、その生き物がアザラシだということが分かりました。びっくりしましたね。毎日見に行っていますが、とても愛らしくてすわちゃんから元気をもらっています。名前も『夫』を一字使っていただき、なおさら親しみが湧いてきました。人気者になって、たくさんの人に喜んでもらえるとうれしいですね。ただ、漁師さんによると近海には、フカのような外敵もいると聞きます。外敵から身を守り、この酷暑を乗り切ってほしいですね。



第一発見者
石上 昭夫さん(都井)



すわちゃん、

ようこそ串間市へ!

都井地区諏訪浜に滞在しているすわちゃんに特別住民票が交付されました。



みやこ保育園の園児たちもすわちゃんに夢中



代理として第一発見者の石上昭夫さんに住民票が交付された

すわちゃんを見るにはここがポイント!



『Welcome to 串間!』
7月18日の「海の日」を前に、6月5日に都井地区諏訪浜にて発見されたゴマフアザラシすわちゃんの転入届に対し、7月15日に特別住民票が交付され、すわちゃんが串間市の一員となりました。串間市で特別住民票が交付されるのは初めてです。性別は不詳ですが、名前は都井地区・諏訪浜で発見され、第一発見者の石上昭夫さん(都井地区・迫)から一字いただき、『都井諏訪夫』と命名しました。

南国暮らしを満喫中のすわちゃん。串間の人気者として、これからもずっと滞在し続けてほしいですね。

ゴマフアザラシって?
本来、オホーツク海やベーリング海といった北海道よりも北の地域のアザラシなのだが、海氷上で繁殖をするために、流水に乗って北海道周辺にまで回遊してくる。

生まれたばかりのゴマフアザラシの赤ちゃんは、全身が真っ白あるいは淡い黄色をした新生児毛に覆われていて、海氷上での保護色となっている。新生児毛は2週間程度で抜け落ち、その後はゴマフの名前どおり胡麻斑模様の毛が現れる。

※WEB水族館全国水族館ガイドより引用

特別住民票			
氏名	都井 昭夫 (愛称: すわちゃん)	生年月日	平成28年5月15日
住所	宮崎県串間市大字都井1丁目2番地(海心の島上)	性別	不明
職業・職名	不明	住所	不明
備考	ゴマフアザラシの子供と見られ、日本では宮崎県の日本海軍中隊(アザラシ隊)でその名の付いた隊で発見されたことがあり、隊員から発見されたことから発見された。		
備考	発見されたのは6月5日。発見場所: 都井地区・諏訪浜		

国籍・地域や前住所も記載され、住民コードやマイナンバーも「都井諏訪夫」にちなんで、「101480」となっています。

水族館職員さんより /

ゴマフアザラシは流水の上で生活する生き物。たまに仲間とはぐれて寒地ではない場所で見つかることもあります。

長期間の滞在は心配ですが、えさを食べることができ、この暑い夏を乗り切って冬に入れば長く滞在する可能性もあります。

夜は陸で休むことが多いので、どこか安心して休めるところに上がってきているかもしれませんね。



いおワールド
なごしま水族館
中村 政之さん